

第91期 年次株主通信

2018.4.1～2019.3.31

FUJI OIL GROUP 2019

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、
食の喜びと健康に貢献します。

 不二製油グループ本社株式会社



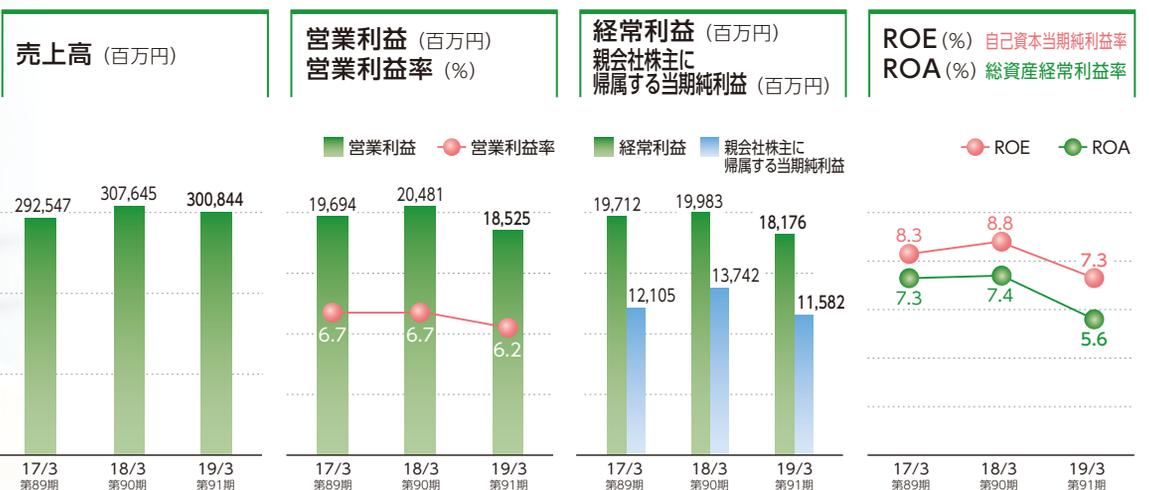
「Plant-Based Food Solutions」を合言葉に、 2050年を見据える。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第91期年次株主通信をお届けいたしますので、ご高覧いただけましたら幸いです。
株主の皆様には、今後とも当社グループの事業にご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト



第92期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
430,000百万円	24,000百万円	22,000百万円	15,200百万円

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

FUJI OIL NEWS

2018

10月

地域統括会社としてオランダに FUJI EUROPE AFRICA B.V.を設立

ヨーロッパ、アフリカ地域の統括会社としてFUJI EUROPE AFRICA B.V.を設立しました。現中期経営計画では、油脂・チョコレート事業の欧州エリアでの強化をミッションに掲げており、同社はヨーロッパ・アフリカ地域での戦略・新規事業・研究開発におけるグループ内シナジーの最適化、事業拡大を担います。その一環として、フードバレー財団(本拠地:農業・食品分野の「知」の一大集積地、オランダ・ワーヘニンゲン)を通じて、研究開発分野でのグローバル・ネットワークを拡大し、オープン・イノベーションを推進してまいります。

FUJI EUROPE AFRICA B.V.

11月

千葉工場内に大豆たん白素材製品 新工場の建設を決定

健康への関心の高まりにより、大豆ミートの注目度が向上するなど、大豆の価値が市場で認められ始めています。新工場建設により、現在高まる需要に応えるとともに、新規市場展開を積極的に進めてまいります。



新工場の概要	
延べ床面積	2,173㎡
生産能力	9,000t/年
操業予定	2020年4月
投資金額	24億円

12月

米国・Blommer Chocolate Companyをグループ化、当社グループは世界3位の業務用チョコレートメーカーに

現中期経営計画の基本方針「コアコンピタンスの強化」に基づき、2015年にブラジル・Harald、2016年にマレーシア・GCB Specialty Chocolates、2018年にオーストラリア・Industrial Food Servicesと、チョコレート事業を強化するM&Aを実施してまいりました。

Blommerは、創業家が3世代にわたり経営してきた世界3位の規模を誇る業務用チョコレートメーカーであり、また世界5位の力カオ豆加工事業会社でもあります。早くから原料トレーサビリティに高い意識を持ち、特に力カオ豆のサステナブル調達に強みを有しており、この力カオ豆原料事業の知見と北米市場の幅広い顧客基盤を活用してまいります。

これらM&Aの実施により、環太平洋を主軸とした世界10カ国16カ所のチョコレート製造工場を有するグローバル供給・販売体制が構築されました。これまで以上に、お客様のご要望にお応えできるよう事業基盤の更なる強化を図ってまいります。



1月

当社グループの取り組みが評価され、CDP最高位の「フォレストAリスト」に選定

CDPは運用資産総額87兆米ドルを有する機関投資家と協働し、企業の環境への取り組みを格付けする国際的な非営利団体です。この度、不二製油グループは、パーム油のサステナブル調達の取り組みを通し森林リスク低減に努めていることが評価され、CDPフォレスト2018において日本企業で初となる最高位のAリストに選定されました。



3月

世界初「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約締結

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済にもたらす影響を分析・評価し、国連環境計画金融イニシアティブが定めた原則・ガイドラインに即して実行されるもので、SDGsへの貢献度合いを企業側が具体的に示すことが最大の特徴です。

当社グループは、全事業領域で、調達から供給まで、事業を通じた持続可能な社会発展への貢献と自社の持続的成長による社会価値創造を目指し、SDGsに貢献する取り組みを推進しています。

本締結により、SDGs目標達成への取り組みをより一層強化し、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

世界第3位のチョコレートメーカーに

2017年から取り組んでいる中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」は、時代のdisruption(断絶)をのり越える変革を意味しています。当期は2年目となり、起承転結でいえば「承」にあたります。「承」とは、変革を起こす「転」に向けて準備する期間です。不二製油グループは、この「承」の年に世界第3位の業務用チョコレートメーカー、米国Blommerを取得して完全子会社化しました。まさに、「転」の年(2019)にこれを軌道にのせることが重要です。

これによって当社グループが世界第3位の位置づくこととなり、業務用チョコレート分野の規模拡大を図ることができました。しかし、今後さらに成長するためには既存事業だけでなく、新たな柱となる事業を育てることが重要です。中期経営計画では、大豆たん白などの「大豆事業の成長」、DHAやEPAといった「機能

性高付加価値事業の展開」をステップアップのための事業戦略として位置づけています。

特に、当社グループでは、創業当初から約70年にわたって「将来必ず人類役に立つ」「大豆は地球を救う」との思いを持ち、大豆事業に取り組んできました。また、その他の分野においても、以前から動物性の代わりに植物性脂肪を用いた機能性油脂やクリーム、マーガリンなどを開発し提供しています。こうした取り組みは、当社グループが重視するESG(環境・社会・ガバナンス)経営につながり、国連が掲げるSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)を実現する一助にもなります。

2050年を見据え、ESG経営を強化

2050年、地球の人口は98億人を超え、世界的な食糧難が起こると考えられています。

まず問題になるのが、子育てにも欠かせない牛乳が不足すること。肉や卵といった動物性たん白質も足りなくなるでしょう。そのような未来を考えたとき、植物性の油脂やたん白質の開発・提供を行うという事業そのものがサステナビリティ(持続可能性)につながります。当社グループの事業活動そのもので、世界の困りごとを解決することができるのです。

ただ、従来の経営手法だけでは、将来の課題に気づかない可能性もあります。そこで、2050年から逆算して今何をすべきか、何ができるかを考えるため、専任のチームを設けました。

まず、ESG経営を統括する立場として、おそらく世界で初めてC“ESG”O職(最高ESG経営責任者)を新設。そして、PBFS(Plant-Based Food Solutions)事業部門を立ち上げ、未来創造研究所にマーケティング部門を集約し、よりソリューションに直結した研究開発ができる体制を整えました。不二製油グループでは、食

品業界を率先して「サステナビリティフード=代替食品」をキーワードとし、未来を見据えた事業展開を進めたいと考えています。

世界の困りごとを解決できる企業へ

5月、平成から令和へ、元号が変わりました。平成の時代をどう反省し、令和の時代にどのようなコンセプトを持つべきなのかを考えることが大切ではないでしょうか。

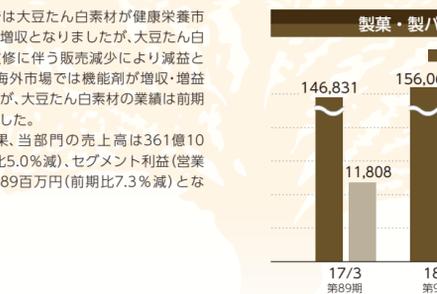
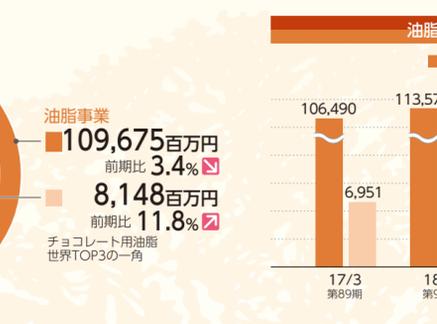
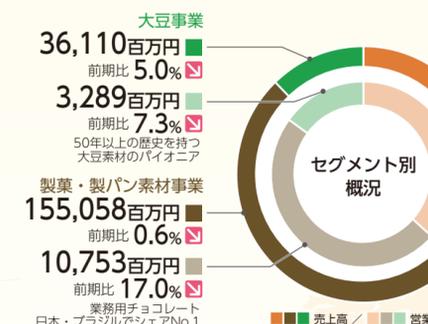
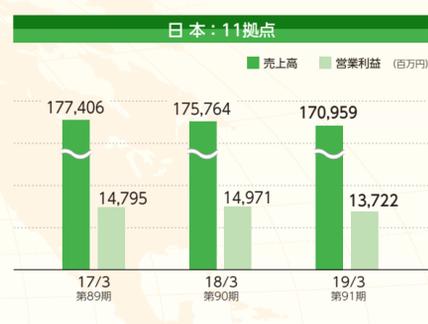
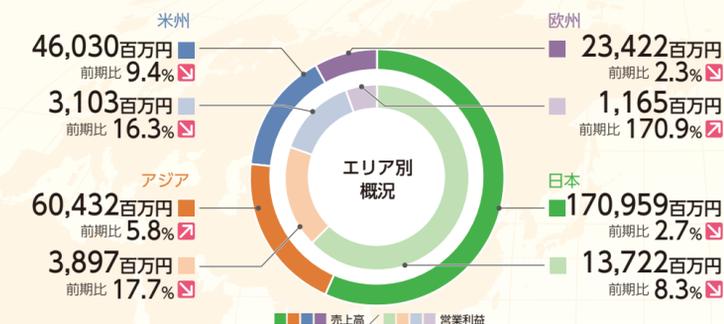
人のためを考え、世界の困りごとを解決する企業(ソリューションカンパニー)を目指すのであれば、心

を込めてものづくりを行う姿勢やもったいない精神に代表される、日本人の感性が非常に役に立つと考えています。SDGsは国連が採択した目標ですが、今こそ日本の企業がSDGsをコンセプトとして表現してもよいのではないのでしょうか。

人のため、世界のために貢献できる会社は、将来的に必ず意味のある会社になります。また、今後はそうした会社が伸びていかなければいけないと考えています。株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも当社グループの事業に長期的な視点でご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



Top Message トップメッセージ



海外市場では米国での寒波・ハリケーンによる工場操業一時停止の影響により減収・減益となりました。アジアは原料相場下落による在庫のコモディティ製品群の採算性低下により、減益となりました。国内市場では採算を重視した販売により減収ながら増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,096億75百万円(前期比3.4%減)、セグメント利益(営業利益)は81億48百万円(前期比11.8%増)となりました。

海外市場では中国でのフィリング・マーガリンの販売が好調に推移しましたが、アジアの調製品事業は乳製品相場の変動による採算悪化により増収・減益となりました。業務用チョコレートは、東南アジアは堅調に推移し、ブラジルは採算性重視の販売により利益を確保しました。国内市場では自然災害や猛暑の影響により乳・発酵素材、デザート製品の販売が低迷し減収・減益となりました。なお、業務用チョコレートは高付加価値品の販売増加など増収要因はありましたが、米国のBlommerの株式取得関連費用(12億77百万円)の計上により減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は1,550億58百万円(前期比0.6%減)、セグメント利益(営業利益)は107億53百万円(前期比17.0%減)となりました。

(注)当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っており、第89期および第90期の数値に関しては、変更後の算定方法および変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。

(注)当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っており、第89期および第90期の数値に関しては、変更後の算定方法および変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。

Corporate Profile & Stock Information

会社&株式情報

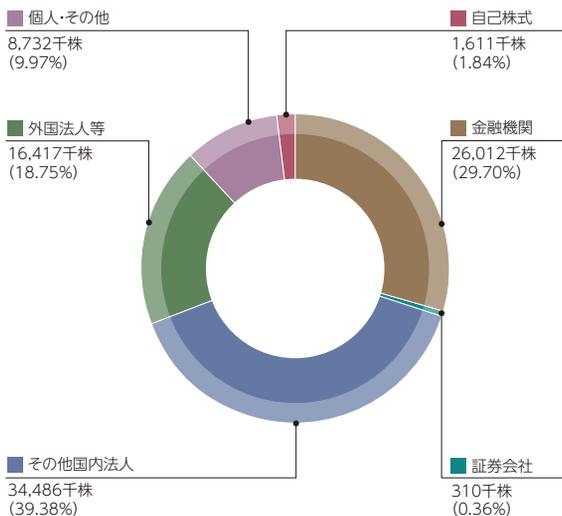
会社概要 (2019年3月31日現在)

設立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	5,963名
不二製油グループ本社従業員数	135名

役員 (2019年6月20日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役上席執行役員	酒井幹夫
取締役上席執行役員	松本智樹
取締役上席執行役員	大森達司
取締役上席執行役員	角谷武彦
取締役上席執行役員	門田隆司
取締役上席執行役員	木田晴康
社外取締役	三品和広
社外取締役	上野祐子
社外取締役	西秀訓
常勤監査役	隈部史博
常勤監査役	澁谷信一
社外監査役	草尾光一
社外監査役	魚住隆太

所有者別株式分布状況 (2019年3月31日現在)



株式に関するご案内

下記当社Webサイトをご覧ください。
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>

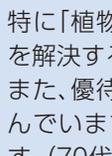


Shareholder's Voice

第91期中間株主通信における株主様アンケート(e-株主リサーチ)には、多くの株主の皆様にご回答をいただきました。改めて御礼申し上げます。頂戴したお声を、今後の皆様とのコミュニケーションに活かしてまいります。どうぞ、当社グループと末永くお付き合いいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



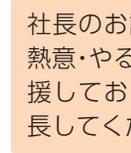
大豆は今後も高たんぱく食として、肉の代替品や健康食品などでますます需要が伸びると思うので、ぜひ大豆関連のシェアも増やしていきたいです。(50代女性)



特に「植物性食素材で世界の課題を解決する…」に共感しています。また、優待品は孫たちがとても喜んでいて、ありがとうございます。(70代男性)



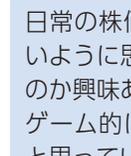
株主優待品の中のチョコレートは、家内が毎年楽しみにしています。あの味は滅多にお目にかかれないと言っております。(70代男性)



社長のお話を聞いておると、熱意・やる気をすごく感じます。応援しておりますので、どんどん成長してくださいね。(40代女性)



消費者が直接不二製油の商品を目にすることは少ないが、非常にユニークな企業だと思う。(70代男性)



日常の株価変動が最近比較的大きいように思われる。どうした背景なのか興味あり。仕株としてマネーゲーム的に使われる銘柄ではないと思っている。(70代男性)

※上記お声は趣旨を損なわない程度に手入れしています。

株主様への還元について

株主優待

1. 対象となる株主様
毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様
2. 優待品発送時期
毎年11月上旬頃
3. 優待品保管期限
転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、1月末日まで当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へ、お申し出ください。なお、保管期限経過後は再発送のご対応はいたしかねますので、ご了承ください。

4. お問い合わせ先

当社株主優待お問い合わせ窓口
フリーダイヤル 0120-651-563
 受付時間 10:00~17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

5. 優待品内容

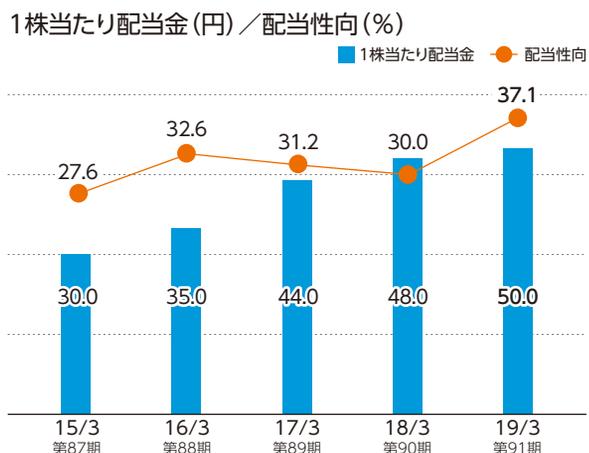
ご所有株式数に応じて、以下の優待品を毎年11月上旬頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	金額
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ	1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	4,000円相当



4,000円相当 内容例

配当



当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識をしております。株主配当につきましては配当性向30%~40%の方針とし、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。また、自己株式の取得も機動的に検討いたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社は、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード **2607**

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信
 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com